

2024年6月17日

盛岡市議会議長 遠藤 政幸 様

現行保険証の存続を求める請願

紹介議員

請願第 6 号



神部 伸也

中村 亨

縄手 豊子

細川 春里

2024年6月7日

盛岡市議会議員
遠藤 政幸 様

盛岡医療生活協同組合理事長 田村茂 
盛岡市津志田 26-30-1
盛岡生活と健康を守る会 会長 鎌澤範之 
盛岡市本町通り 2-8-32
年金者組合盛岡支部 支部長代行 富岡弘 
盛岡市本町通り 2-1-36 浅沼ビル 4階
盛岡民主商工会 会長 藤沢光一 
盛岡市松尾町 19-8
新日本婦人の会盛岡支部 支部長 岡田真子 
盛岡市本町通り 1-10-35
盛岡農民組合 組合長 小笠原憲公 
盛岡市本宮大柳 96
米内農民組合 組合長 赤坂誠悦 
盛岡市桜台 1-19-3
(連絡先 盛岡医療生活協同組合組織部
担当者 鈴木幸子 019-635-6253)

現行保険証の存続を求める請願

【請願主旨】

2023年6月2日、マイナンバーカードと健康保険証の一体化を目的とした法案が参議院本会議で可決、成立しました。この法案に対し、共同通信社が実施した世論調査によれば延期や撤回を求める声が72.1%と報道されています。厚労省によると2023年12月時点のマイナ保険証利用率は4.29%とのことです。

盛岡市民や医療機関へ通う患者、特に高齢者や障がいのある方々から「マイナンバーカードは作りたくないのにどうすれば良いのか」「マイナ保険証は5年ごとの更新が必要で手続きができない」「現行保険証を廃止する理由がわからない」「健康保険証が廃止されると資格確認書の更新漏れにより保険診療が受けられない」など、不安の声があがっています。そうした声が多く、また普及率も著しく低い状況にもかかわらず政府は2024年12月2日をもって現行保険証の原則廃止を強行しようとしています。

現行保険証の存続こそ国民、市民の医療を受ける権利と安心を保障するものと確信します。以上の趣旨から以下の事項について請願します。

【請願項目】

現行保険証を存続するよう求める意見書を国に提出してください。